

協会第一回代表団が訪中

方毅副総理、李昌、周培源中国副院長、 中国科学技術界の指導者と会談



日中科学技術 (二) 連絡
日中科学技術交流協会事務局

〒106

東京都港区六本木三の十六の二三
タウンコート六本木三〇七
電話 〇三(五八五)八七一〇

協会第一回代表団は中国科学院の招きを受け四月二十八日から五月八日まで北京、上海を訪問した。

代表団は北京で方毅副総理と会見し、中国科学院、中国科学技術協会、中国国家科学技術委員会、中国農学会、中華医学会を表敬訪問し今後の交流について深く話合った。

また団員はそれぞれの専門により、中国化学会、中国物理学会、中国海洋学会、中国金属学会、中国宇航学会、中国電子学会、中国土木工程学会、中国公路学会、中国林学会、及び中国科学院化学研究所、力学研究所、動物研究所、半導体研究所、有色金属研究総院、郵電部科学研究所、中国医学科学院等を訪ね学術報告を行い、研究者と座談会を行った。

有山団長と越智顧問は北京日本大使館で佐藤大使を訪問した。また中日友好協会を表敬し王蕤生副会長と会見した。

団員は北京滞在中、清華大学、北京医学院等を参観し、休日には万里長城、頤和園、中日友好人民公社等を遊覧した。

中国科学院は李昌、周培源副院長が代表団に心あたたまる歓迎宴を開催した。代表団は北京を離れるにあたり答礼宴を開催した。

上海では中国科学院上海分院が代表団を心から歓迎した。

日中科学技術交流協会代表团、 方毅副総理との会見記録

一九七九年五月五日午後四時から五時半

出席者

方毅副総理

周培源中国科学院副院长

秦力生中国科学院副秘书长

郝汀中国科学院外事局局长

崔泰山中国科学院外事局責任者・通訳

吳政安動物所研究講師・通訳

余谷風中国科学院外事局一所所長

姚佩君中国科学院外事局一所

徐和平

王晓鳴

日中科学技術交流協会訪中代表团十七名
及び事務局二名

有山 今回は大勢でおじゃまいたしました。

どうぞよろしくお願ひ致します。

方 滞在期間が短いのが残念です。

有山 茅先生からくれぐれもよろしく、お

身体御大事にとおっしゃっていますま

方 どうもありがとうございます。帰国

なさってからこちらからもよろしく

お伝え下さい。茅先生は去年の十二

月で満八十才におなりでしょう。

有山

とてもお元気で、全く故障がないとい

方

去年、アメリカからの帰国途中に日

本に立ち寄った際に本来なら茅先生

に挨拶にいべきだったのですが、

鄧小平副総理といっしょでしたので、

大平氏、園田氏、田中氏、福田氏に

会わねばならず、時間の関係でどう

してもお会いすることができず失

礼致しました。茅先生は日中學術セ

ンターの為に非常に力を注がれてい

る御様子で、敬服致しております。

文化學術交流の為に奮闘なさってい

らっしゃいますが、御高齢ですの

くれぐれも御身体御自愛下さる様よ

ろしくお伝え下さい。

有山 學術交流センターの件は、今文部省

に話が持ち込まれ學術審議会の小委

員会で話が進められていると聞いて

いますが結果がどうなるかはまだわ

からないようです。茅先生の提案通

りにいくかどうかわかりませんが、

もう少し見守りたいと思っています。

る科学院の方々には申し上げたので

すが、小委員会で一応の結論が出さ

れ、六月中旬には総会で方向が出さ

れてくるようです。

方

茅先生が中日両国の學術交流の為に

奮闘していらっしゃることはよく知

っています。何分にも御高齢です

から御身体に注意なさるようお伝え下

さい。

有山

ありがとうございます。茅先生は御

元氣そうに見えますが何分仕事が多

いので私達もいつもしなくてもよい

ことはなるべく省いてお身体を大事

になさるよう注意しております。茅

先生は、日中科学技術交流協会の常

任理事会にも毎回出席され、よい意

見を出して下さい。ただ一つ先

生が気にかけていらっしゃることは、

両国の交流について科学技術といわ

ずに學術とした方がより一層よいの

ではないかということ。学問の

進歩は、社会に大きく貢献しますが、

自然科学ばかりでなく人文社会科学

をも含め、均衡のとれた學術全体を

発展させることが人類社会の正しい

発展の一層貢献するのではないでし

ょうか。前學術會議会長で、代表願

方

考え方は、非常に良いと思います。學術内容は、自然・人文・社会科学

有山

最初に方毅副総理がおっしゃった様に、もっと期間がとれば報告も、交流ももう少しできたでしょうが、団員の先生方、皆忙しい方ばかりで、非常に残念に思います。先程、學術の事について少し過分のことを申し上げ、失礼致しましたが、どうぞ御承下さい。

方

問の越智先生と私などは茅先生が學術會議会長であった当時、學術會議でこの問題については随分議論しました。それぞれ国ごとに事情が異なり、中国が現在四つの現代化を重視して努力していらっしゃることはよく承知していますが、學術全体の発展を考慮することをいつかの時機に検討していただきたいと思います。茅先生もこのことをもし機会があれば是非伝えてほしいと、おっしゃっていました。

周 有山

今回の団は、各専門分野、学会等で

方

古い友人の先生方もいらっしゃるの
で、中国側の紹介は省略します。周
先生は今年77才？

有山

東京は大きくなりすぎたようです。
今回は各方面の専門の先生がたがい
らしています。名簿の通りです。

方

主要な方ばかりなので、それぞれの分野、学会において、今後交流が益々さかんになることを期待しています。中日両国は一衣帯水の隣国ですからもっと多くの人々が行き来しなくてはならないと思います。特に現在の国際情勢の下で中日両国間で行き来することは非常に意義のあることだと思います。我国で割に大きな国際問題が起ると、往々にしてまず日本に知らせます。例をあげると、鄧副総理がアメリカを訪問した帰途日本に立ち寄り、日本の責任者に報告したので、ベトナムに對しちよう罰行動に出ることをまず話しました。これは日本の友人の意見をまず聞かせてもらおうということ、もちろんベトナムに對する今回の事は、中国側が自分で考え決定した事です。しかし私達の友人に對して、自分達がやろうとすることを知らせる事は良い事だと思います。

有山

鄧小平副総理がアメリカからの帰途
途中日本に立ち寄った時、今の事を
政府関係者におっしゃいましたが、
このことは政治に携わっていない我
我にとっても非常に意義あることに

方

思えました。我々の様な、特に中国に対し、友好的な気持ちを持っています。友好的な気持ちを持っています。中国を信頼しベトナムのことはしていらっしゃると信じています。

この様な大きな出来事の場合事前に日本の友人に知らせることは当然だと思つています。友人の皆様は自然科学に携わつていらつしゃいますが政治的な大きな変動は自然科学方面にも影響があると思つています。日本では大平首相とこのことについて話しましたが日本の友人達はこの問題に非常な関心を寄せ心配し、大いに反響があつたと思つています。北からの侵略に対する心配、これはもつともな考えです。我々も北からの影響は充分考えましたが、当時は北からそう大きな影響はないと考えていました。もし我々が今回ベトナムに対して懲罰を加えなければ、それは中国が弱いということを示すことになると思つています。西側はソ連の支援の下で人口も少なく小さな国のキューバがアメリカであればまわつてくることに非常に弱い立場にいます。我々はこれを批判していたのですがこれが目

有山

方

前にさしせまりベトナムが暴れまわるといふ状況に出くわしたわけですからここでわれわれが何もしなければ西側諸国と同じことになるので我々は懲罰を加えたのです。この我々の態度にマレーシア、タイ等の東南アジアの友人達は非常によろこんでいます。

細かい事はよくわかりませんが、大局的にはなさるべきことをなさり落ち着くべき所に落ち着かれベトナムを尽されたと思つています。我々は我国の事を友人に知らせる時には先ず我々の行動には限界があることを話します。ベトナムは東南アジア——カンボジア、ラオスそして将来理屈をつけてタイにまで入りこむこともあり得ると思つています。ベトナムは小覇権主義ですがこの影響は大きく決して見逃がしてはならないものだと思います。実際は、ソ連が西はキューバを、東はベトナムを利用して全世界の平和を攪乱しているのです。これはアメリカにも影響のあることで最初、アメリカも北からの影響がどんなものであるか心配していましたがそれはこのベトナム

有山

方

に対する対処により強くなってきました。このようにしなければソ連やベトナムの野心をおさえることはできないと思つています。我々日本でこのことについては大平氏と話しました。今後もし似たような事があつたら似たようなことをし、立派に遂行されることを信じております。

今、ハノイで話し合っている長々としたカンボジアからのベトナム軍隊の撤退はベトナムはしないと聞いています。又事実ベトナムにはできないと思つています。今、ベトナムは大きな困難をかかえていることを我々は知つています。一つは食糧の問題、もう一つは燃料(石油)の問題です。現在ベトナムの武器といえば竹槍をたくりトーチカをつくるだけで、竹以外のものはすべて外国に頼っているのです。今、ソ連が援助しています。がそのかついでいる袋は非常に重いものといえるでしょう。ベトナムは人口が多いので人民に食糧を与えないといふことは重大な問題です。今、彼らはおごりたかぶつてベトナム軍人一人が中国軍人三〇人と相対せるとほらを吹いています。だから

今回の戦争でいさめたのです。戦争を始めて三、四日間でベトナム軍隊はすぐに軍隊らしくない状態となりました。中国側は最後に陥落した都市リョウラクを占領することによりハノイに入る道がひらけたのです。それにより初めてベトナムとソ連の矛盾を知ることができました。丁度その翌日が建国記念日だったのでその翌日のハノイ駐在の演説とベトナムの演説が異なり、翌日の新聞にはいっさいその記事はのらず、三日後に修正して記事を新聞に載せるといふことがありました。

有山

小覇権主義についておっしゃいましたが我々はそういうことができるだけないように望みます。そして、小覇権主義も大覇権主義もどちらもないことを切に望みます。その為に我々自然科学に従事しているものはそれを起こさぬよう寄与できるような努力しているつもりです。しかし日本は明治維新以来、第二次世界大戦以後、急いだために多くのまちがいを犯しているのではないかとおそれています。もしお気付きになることがありましたら御意見、御批判を是非

方

聞かせていただきたいと思えます。今、中国と日本は友好的につき合っていて両国の関係は非常に良いと思えます。

有山

我々に出来ることは両国の科学技術及び学術交流の発展のために努力をすることであり、その成果が社会に良い影響を及ぼしていくようにしたいと思えます。

方

科学技術の進歩に関しては我々は日本に学ばなければなりません。中国は明の末から清朝にかけて長い間たちおくれました。しかし、中国にも長所がないわけではなく日本の友人の皆さんの中には中国の長所を学びたいといったださる方もあります。互いに研究したいところがあれば協力していこうではありませんか。我々は大いに歓迎します。

有山

どうもありがとうございます。学術交流を進展させていく上でいろいろ問題があることが気がかりです。私も私と意見を交わす親友、協会の同僚等の多くは中国から学ぶべき点が沢山あることをよく知っています。学術交流は交流であって直流ではないことをここで強調しておきたいと

思えます。日中両国は学術進歩の途上でも互いに協力しあって共同進歩していくことのできる最も深い間柄を持つ隣国だと思っています。いろいろ話を聞いてみるとヨーロッパはヨーロッパなりに、そしてソ連はソ連なりに協力して学術を進歩させることができるように見受けられますが、アジアは先進的な国々からはそういう点でまだたちおかれているところがあるようにみうけられます。

日中両国が助けあって進歩していくことを願っています。例えば、宇宙線観測についていえば、中国には日本では得られないような良い条件(地理的・地学的)があります。こういう分野で相互に持っている技術や条件を出して助けあえば世界の最先端の水準に立つことができると思えます。この三月にこちらにおじゃました筑波の高エネルギー研究所の西川教授もこちらの研究所と共同研究を進めようとしています。この様にそれぞれ持っている特徴的条件を出して共同研究など研究交流をすれば見事な成果が得られると思えます。これらは単に二つの例にすぎません。

方 がこれに類する例は検討すれば沢山
でてくると思います。

方 例えばさきほど有山先生のおっしゃ
った宇宙線観測にしても、中日両国
が協力すれば中国にはすばらしい地
理的条件がありますので世界最高峰
において世界の最先端のエマルジョ
ンチェンバーによる研究ができるの
ではないでしょうか。

有山 エマルジョンチェンバーによる研究
は日本独特のものがあると聞いてい
ますので成果はすばらしいでしょう。
中国側は已に共同研究をしたいとい
う意向を出して最近も話し合いをし
ています。エマルジョンチェンバー
の方法で観測される高エネルギーの
粒子は、高エネルギー加速器から得
られるよりもっと速いものが得られ
るそうです。

有山 そうですね。

方 宇宙線観測所については現在世界で
一番高いのはソ連のバスカ山にある
ものですが今、中国がやろうとして
いるものはそれよりも高いものでヨ
ーロッパ、アメリカの科学者達も中
国のチベット高原に目を向け非常に
興味を持っています。私はかつて西

独とフランスを訪問したことがあり
ますが、そこで会った科学者が「チ
ベットを研究せよ地学はあり得ぬ」
と言っていました。これは少々ほめ
すぎですがこの団の中に資源につい
て研究なさっている先生がいらっし
やいます。エネギー、石油、石
炭、有色金属が豊富で世界に類がな
いと思っています。この有色金属の
中のチタンは一年に数千万トンでは
なく数億トン産出できます。その他
にバナジウム、稀土類も豊富です。

方 これについてフランス、西独の科学
者は非常に興味をもっていました。
西川教授が我国を訪問された時、我
々のやっっている高エネルギー加速
器について詳しく説明し西川教授から
も詳しく意見をききました。

有山

方 茅先生がよく話しておいでですが日
本に豊富な人間ばかりで資源は
非常に乏しいです。どのようにした
ら最もよいかが問題です。

有山

方 中日両国が協力しあえば世界でも強
国となることができるでしょう。
その通りだと思います。コンブリメ
ンタリーというか、相互補完的に協
力すると持っている力を非常にうま

く発揮することができるのではない
でしょうか。話は戻りますが宇宙線
観測、高エネルギーに関しましては
黙っていても両国の研究者同志で話
しが進みますので今回はそれらを除
いてこれから交流の道が開かれ発展
すべきところを考え、又中国の重視
している科学・技術発展計画の八つ
の分野を私共も重視して交流が充実
して発展することが願わしいと思っ
た分野の先生方に参加していただき
ましたのでどうぞ御活用下さい。

方 良い考え方だと思えます。
よろしくお願い致します。

有山 今後は各方面に重点を置き協力し発
展していきましょう。

有山 私共も同じく希望します。先程長所
ということができましたけれど、これ
は私の専門外ですが中医は独特のも
のをもっていると思えます。中医は
歴史的に専門的に、分析的な専門と
ちがった性格を持っているように思
われます。団員の中には医学の専門
家が何人かいらして私など申すのは
おかしいのですが、中・西医結合の
発展を願わしく思っています。中・
西医結合はまさに医学の中の相互補

方

完であり、これを中国の内部で己にやっていたらという事は非常におもしろいことだと思えます。

中国の中医は数千年の歴史をもっており、一面独特な特長をもっています。例を挙げると、骨が折れ砕けてしまった時西医ではうまく骨をつなぎあわせることはできませんが中医は徐々にあんまをして草薬をつけて治します。西医では石膏を用いる為筋肉が縮まってしまいますが中医を用いると筋肉も何の影響もなく治すことができます。又、中・西医を結合してX線を通し写真をとると治療後骨がうまくつながったか否かを知ることが出来ます。このようにして中・西医結合を行っています。又、別のお話しをしますとあるカナダの医学研究院々長・医学博士の方が病気にかかり首がまわらなくなり20年間いくら手を尽くしても治りませんでした。その医師は治療の為に手術がどうしても必要になり夫人と共に中国へ来、その際中医のことを聞き中医に病状を看てもらいました。先ずX線で検査をし病状を調べました。中医のある医師は治すことができる

と言うとカナダの医師は20年もの長い間治らなかつた病がどうしてすぐに治せようかと全く信じませんでした。中医の医師はゆっくりと指圧し、あんまをして最後に首をまわすとなんと動くではありませんか。その場で治ってしまったのです。20年もの長い間治らなかつた病気が一度の治療で治り、カナダの医師はとても喜び何で感謝を表わしたらよいかと言いました。が中医の医師は何もいりませんと言った、このような実話があります。中医は非常に経験もあり特徴もあります。特に麻酔に関しては西医は全身麻酔をするときめた時非常に苦しいですが中医の場合、ベトナム戦争の負傷兵の手術の時に用いたものは西医でも、針麻酔でもなく薬草をスूपにして飲み、寝ている間に手術を終えるという方法です。これはさめてから痛みが残りません。中国の三国時代に華陀という者がいて『麻酔書』の中でベトナム戦争時に用いた薬草について記しています。私は専門家ではないのでいろいろとあげられませんがいろいろな薬草を混ぜて用いるのです。

有山 それは普及しているのですか。
方 今度のベトナム戦争の負傷兵の治療には全て薬草を用いました。

有山 今日は大勢で長時間にわたっておじやましていろいろと本当にありがとうございました。

協会代表団と中国関係
部門の会談・会見名簿

國務院・方毅副総理

中国科学院・李昌副院长、周培源副院长、

秦力生副秘书长、郝汀外事局长、崔泰

山外事局責任者、過興先一局責任者、

余谷風外事局一処長、姚佩君、丁学泉

外事局幹部、徐和平、王曉鳴外事局職

員

中国科学技術協会・劉述周副主席、王順桐

書記処書記、王政国際部副部长、鄧栢

木学会部責任者、馮白魯科学普及部責

任者、黄盧青少年部責任者、金若宣国

際部職員

中国国家科学技術委員会・趙東苑副主任、

敵宏諒外事局副局長、田兵外事局副處

長、倪信興外事局副處長

中国農学会・楊頭東理事長、張心一副理事

長、孫森甫秘書長、朱蓮青常務理事、

李君凱弁公室副主任、黃偉中国牧畜獸

医学會副秘書長、徐運天理事、陳光友
職員

中華医学会・陳致明副會長、屠宝忠副秘書
長、顏平安、周心寬職員

中国科学院物理研究所・施如為所長、陳立
泉研究室主任

中国科学院理論物理研究所・郝柏林責任者
中国科学院生物物理研究所・貝時璋所長、
鄒承魯副所長、沈淑敏研究室主任、沈
恂、亢康研究員、王玉英職員

中国科学院遺傳研究所・胡含所長、葉曉業
務處長、童克忠、杜若甫、王培田、梁
正蘭、陳英副研究員、梁宏副技師、周
憲庭副組長、周祉楨研究員補佐、石楓
職員

中国科学院動物研究所・肖淑熙研究室主任
楊慧一研究員、吳政安講師

中国科学院植物研究所・姜恕副所長
中国科学院半導體研究所・王守武副所長
中国科学院力学研究所・林同驥副所長、錢
福星研究員

中国科学院計算センター・馮康主任
有色金属研究總院・鄒安華副技師長、鄒忠
敦科学研究部責任者

國務院郵電部科学研究院・楊太芳副院長、
楊元桐對外技術連絡處長、姚景蘭、時
紅、希玉久副處長、林華永、李家瑞

電部半導體研究所研究員、李永祥、王
永發北京長距離電話局技術者

中国医学科学院・吳旻肺癌研究所研究員、
羅會元基礎医学研究所研究員

中国物理学会・管維炎副秘書長
中国化学会・楊石先理事長、王序、盧嘉錫
柳大綱、季蘇、鮑奕珊副理事長

中国海洋学会・曹丕富外事局秘書
中国公路学会・高原中国土木工程学会副理
事長、劉承先國務院交通部公務局副技
師長、熊哲清、程英華技師、陳德榮、
趙鳳娟、曾沛霖交通科学研究院技師、
黃静、朱租馨、王開山交通部公務企圖
設計院技師、王益平、宋毅交通部外事
局職員

中国金属学会・劉克剛秘書長、吳路青副秘
書長、葛庭燧中国科学院瀋陽金属研究
所副所長、肖紀英鋼鐵學院教授、吳永
華外事局職員

中国宇宙航空学会・馬捷副理事長、徐明理
事、劉柏羅燕山公司副經理、栗在山顧
問、韓志華中国氣動力研究發展センタ
ー副技師長、許鳴真涉外責任者、陸毅
燕山公司秘書、王德民中国氣動力研究
發展センター職員

中国林学会・吳中倫秘書長、張東明、趙忠
仁、吳博理事、趙志鵬外事組責任者、

劉傳玉外事組職員

中国科学院上海分院・王忞陳院長、蘇步青
上海科学技术協會會長、辺伯明副院長、
王猷副院長、鄒元煙中国科学院上海治
金研究所長、庄孝德中国科学院上海生
物学研究所長、鄧錫銘中国科学院上海
光学機械研究所副所長、劉淮德中国科
学院上海昆蟲研究所副所長、張綬慶中
国科学院上海硅酸鹽研究所教授、俞叔
文中国科学院上海植物生理研究所助教
授、孫玉坤中国科学院上海生物化学研
究所助教、陳政雄中国科学院上海藥
物研究所助教、陳允新中国科学院上
海分院弁公室主任

中国の自然科学系学会
(七九・五月現在)

理学系・中国数学会、中国物理学会、中国
化学会、中国力学学会、中国地球物理
学会、中国地理学会、中国心理学会、
中国微生物学会、中国動物学会、中国
昆虫学会、中国遺傳学会、中国植物学
会、中国古生物学会、中国環境科学学
会、中国气象学会、中国鉱物岩石地球
化学学会、中国生物化学学会、中国天
文学会、中国植物生理学会、中国海洋
湖沼学会、中国地質学会、中国海洋学

中国林学会・吳中倫秘書長、張東明、趙忠
仁、吳博理事、趙志鵬外事組責任者、

劉傳玉外事組職員

中国科学院上海分院・王忞陳院長、蘇步青
上海科学技术協會會長、辺伯明副院長、
王猷副院長、鄒元煙中国科学院上海治
金研究所長、庄孝德中国科学院上海生
物学研究所長、鄧錫銘中国科学院上海
光学機械研究所副所長、劉淮德中国科
学院上海昆蟲研究所副所長、張綬慶中
国科学院上海硅酸鹽研究所教授、俞叔
文中国科学院上海植物生理研究所助教
授、孫玉坤中国科学院上海生物化学研
究所助教、陳政雄中国科学院上海藥
物研究所助教、陳允新中国科学院上
海分院弁公室主任

中国の自然科学系学会
(七九・五月現在)

理学系・中国数学会、中国物理学会、中国
化学会、中国力学学会、中国地球物理
学会、中国地理学会、中国心理学会、
中国微生物学会、中国動物学会、中国
昆虫学会、中国遺傳学会、中国植物学
会、中国古生物学会、中国環境科学学
会、中国气象学会、中国鉱物岩石地球
化学学会、中国生物化学学会、中国天
文学会、中国植物生理学会、中国海洋
湖沼学会、中国地質学会、中国海洋学

中国林学会・吳中倫秘書長、張東明、趙忠
仁、吳博理事、趙志鵬外事組責任者、

劉傳玉外事組職員

中国科学院上海分院・王忞陳院長、蘇步青
上海科学技术協會會長、辺伯明副院長、
王猷副院長、鄒元煙中国科学院上海治
金研究所長、庄孝德中国科学院上海生
物学研究所長、鄧錫銘中国科学院上海
光学機械研究所副所長、劉淮德中国科
学院上海昆蟲研究所副所長、張綬慶中
国科学院上海硅酸鹽研究所教授、俞叔
文中国科学院上海植物生理研究所助教
授、孫玉坤中国科学院上海生物化学研
究所助教、陳政雄中国科学院上海藥
物研究所助教、陳允新中国科学院上
海分院弁公室主任

中国の自然科学系学会
(七九・五月現在)

理学系・中国数学会、中国物理学会、中国
化学会、中国力学学会、中国地球物理
学会、中国地理学会、中国心理学会、
中国微生物学会、中国動物学会、中国
昆虫学会、中国遺傳学会、中国植物学
会、中国古生物学会、中国環境科学学
会、中国气象学会、中国鉱物岩石地球
化学学会、中国生物化学学会、中国天
文学会、中国植物生理学会、中国海洋
湖沼学会、中国地質学会、中国海洋学

会、中国細胞生物学会。

- 工学系・中国自動化学会、中国科学技術情報学会、中国電子学会、中国航空学会、中国精密機械学会、中国造船工程学会、中国航海学会、中国金属学会、中国機械工程学会、中国鉄道学会、中国建築学会、中国水利学会、中国電機工程学会、中国化学工業学会、中国測量製図学会、中国硫酸塩学会、中国紡織工程学会、中国軽工業学会、中国製紙学会、中国石油学会、中国計量および測量試験学会、中国石炭学会、中国宇航学会、中国郵便電信通信学会、中国公路学会、中国計器学会、中国内燃機関学会、中国標準化協会、中国制冷学会、中国腐蝕および防護学会、中国工程熱物理学会、中国太陽エネルギー学会、中国真空学会、中国包装技術学会。
- 農学系・中国農学会、中国水産学会、中国林学会、中国土壤学会。
- 医学系・中華医学会、中国薬学会、中華看護学会、中国結核予防協会、中国生理科学会、中国解剖学会、中医学会。
- その他・中国管理現代化研究会、中国技術経済研究会、中国未来研究会。

中国国家科学技術委員会の紹介

中華人民共和国国家科学技術委員会（简称・国家科委）は、國務院に所属する政府機関の一つであり、全国科学技術活動を指導・管理する最高の行政機構である。

国家科委主任は方毅副総理が兼任をしている。

国家科委の主な任務は

- 一、国家の科学技術方針、政策を貫徹実行し、法律に従い命令を下す。
 - 二、全国の科学技術発展の長期計画と年度計画を編纂し、実施状況を調べる。
 - 三、重大な科学研究任務の分業と協業をはかる。
 - 四、重大な科学研究の成果、発明、創造の鑑定、奨励及び応用推進をはかる。
 - 五、国際間の科学技術交流活動を発展させる。
 - 六、科学技術活動の条件をつくり、問題を解決する、等。
- 国家科委には事務局、企画局、外事局、科技幹部局、科学研究成果局、活動条件局及び若干の專業局がある。
- 国家科委と國務院の關係産業部門は緊密に連絡をとり、上記の任務を遂行するため、協力している。
- 各省、市、自治区の革命委員会には、すべて科学委員会があり、業務上、国家科委の指導を受けている。

中国水中音響視察団来日

中国科学院水中音響視察団は六月一日から六月二一日まで来日しその間、東京大学生産技術研究所、東京大学地震研究所、東京工業大学精密工学研究所、北海道大学、千葉工業大学、東海大学、大阪大学産業科学研究所、大阪電気通信大学、理化学研究所、海洋科学技術センター、農林水産省漁船工学部、日本電気、海上電気、日立製作所、沖電気工業を視察した。また六月一九日に開催された海洋音響研究会五四年度第一回シンポジウムで尚尔昌氏が「中国に於ける水中音響の研究について」発表を行った。

団の名簿

- 団長 章宝鏐 中国科学院武漢物理研究所 副所長、教授
- 団員 尚尔昌 中国科学院音響学研究所 研究室主任、助教
- 団員 侯自強
- 団員 張徳俊 中国科学院武漢物理研究所 研究室主任講師
- 団員 何顯懋 中国科学院武漢物理研究所 講師
- 団員 張宝成

中国宇宙技術視察団来日

協会は科学技術庁、経済団体連合会宇宙開発推進会議の協力を受け中国宇宙技術視察団を招請した。

中国宇宙技術視察団は六月十二日に来日し約一ヶ月間わが国の衛星の発射、追跡、測量、コントロール、通信、データ処理等の各システムの施設、設備、組織の実施及びその研究、製造等の方面を重点的に観察している。

団長の徐明氏は中国でこれまで打上げた全ての衛星の発射基地、蘭州酒泉地区衛星発射場主任であり、団員も地上局の優秀な科学者が選ばれている。また団員の中には旧制第一高等学校から東京大学を卒業、東京大学宇宙航空研究所で研究生活を送り一九六一年中国に帰国した銭福星氏、同じく旧制第一高等学校を卒業し東京工業大学出身の陳雁居氏が含まれており中国がわが国の宇宙技術に寄せる期待の大きさを示している。

団の名簿

- 団長 徐明 中国宇航学会理事、蘭州酒泉地区衛星発射場主任
- 顧問 栗在山 中国燕山公司顧問
- 副団長 陳芳允 中国宇航学会空間電子学専門学会主任、西安衛星観測コントロールセンター

団員 張敏 副技師長
蘭州酒泉地区衛星発射場副主任

夏銘智 西安衛星観測コントロールセンター科学技術部責任者

劉同喜 燕山公司技術發展部責任者

顧增沛 燕山公司技術發展部責任者

錢母荒 成都西南電子技術研究所技師長

銭福星 中国科学院力学研究所研究員

王恒永 西安衛星観測コントロールセンター科学技術部副技師長

沈椿年 蘭州酒泉地区衛星発射場科学技術部副技師長

陳雁居 北京文献服務処研究室主任

陳炳忠 長春衛星追跡ステーションエンジニア

宗文運 昆明衛星追跡ステーションエンジニア

李元正 蘭州酒泉地区衛星発射場エンジニア

団員兼 秘書 陸毅 燕山公司秘書

訪問先

科学技術庁航空宇宙技術研究所

郵政省電波研究所、鹿島支所

気象庁衛星通信センター

東京大学宇宙航空研究所、内之浦宇宙センター

宇宙開発事業団、種子島宇宙センター、沖縄追跡管制所、地球観測センター、筑波宇宙センター、勝浦追跡管制所

日本電気、富士通、三菱電機、日立製作所、松下通信工業、日本無線、ナック

宇宙科学博覧会

科学技術庁

経済団体連合会宇宙開発推進会議

沈元中国航空学会理事長一行

中国航空学会理事長沈元氏と中国科学技術協会国際部副部長王政女史は訪米を終え帰国の途中二日間わが国に滞在し協会の斡旋で宇宙科学博覧会と科学技術館を見学しそれぞれの展示責任者と懇談した。

定期総会開催のお知らせ

一、日時 七月一九日(木)午後二時から四時

二、場所 竹橋会館(東京)丹頂の間